



メディア規制とジャパニーズカルチャー



G8班

1. 序論

日本で国民的人気を誇る漫画「ONE PIECE」は海外でもアニメ化されている。しかし、アメリカでは社会的背景により主要キャラクターの喫煙シーンが規制されていることをご存知だろうか。最近、マスメディアの発達による影響も拡大している。テレビ等で放送される映像作品からの情報は感動とともに悪影響をもたらすものもある。私たちは法律の制定とそれによる映像作品への影響を調べることにした。



まとめ・結論

グラフと年表より、法律が制定されるたびに喫煙シーンが減少していることがわかる。特に国際的な法律が制定されてからは禁煙を呼びかける広告が画面に映ったり、アニメの登場人物たちが禁煙していたりと、視聴者に喫煙を促さない配慮がされていた。ほかのアニメでも、未成年者の喫煙シーンや、病院での喫煙シーンに批判が寄せられるといった事態も起きている。啓蒙活動によって喫煙の危険性が認識されている証拠である。また、先述の通り、映像作品が子供に与える影響も大きい。しかし、「タバコを吸う」ことはキャラクターにとって重要な個性であり、喫煙シーンのせいで子供が素晴らしい作品を見られなくなることへの是非も問われる。規制が進むこの時代だからこそ、規制への配慮と物語のエンターテインメント性を両立することが必要だろう。

2. 材料と方法

私達はメディアの影響力をタバコを一例にして調べた。

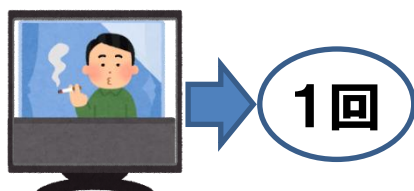
2019/07/11Netflixが喫煙シーンを映画のシーンから減らすと発表したこともあり映画内のタバコについてのシーンの変化と法律の制定の相関、そしてそれによる効果を調べる。

○映画内でのタバコシーンの変化

・長期で続いている映画で主要キャラクターがタバコを吸っている映画を選ぶ
→ルパン三世を選択

・1989年～2010年まで毎年放送されていた、ルパン三世TVスペシャル17本（各90分）を視聴
→登場人物たちがタバコを吸うシーンの数をかぞえた。

※タバコが画面に映るたびに一回としてカウントした。



○タバコに関する法律の制定について

- ・1999年に第52回世界保健総会（WHO総会）でたばこ規制のために政府間交渉会議を設立することが決定
- ・2000年10月から2003年2月までに6回会議が開催され、たばこの規制に関する条約への合意が成立
- ・2003年5月にコンセンサスによって採択

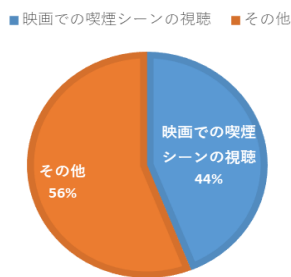
内容（要約）⇒①受動喫煙の防止

- ②たばこの包装の30%以上を警告に充てる
- ③たばこの広告、販売促進を禁止または制限
- ④未成年者のたばこ禁止のための措置

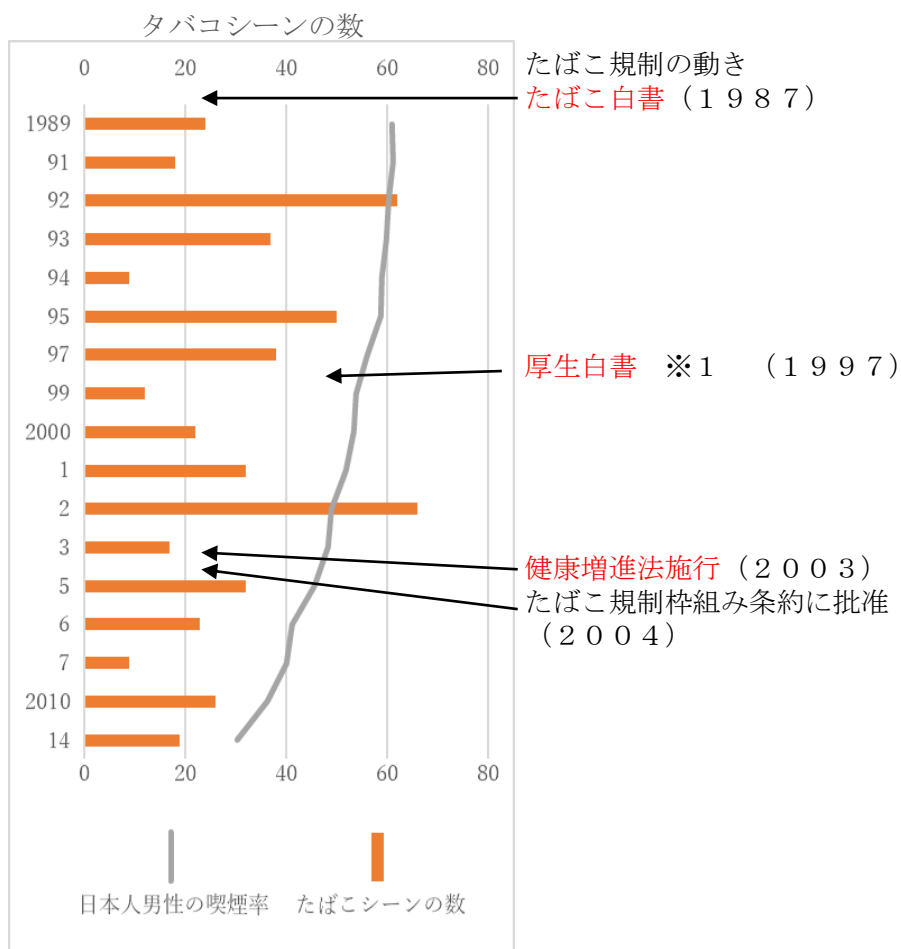
○映像が子供に与える影響

欧米では、子供が喫煙を始める理由の44%が映画での喫煙シーンの視聴だという。これは親のしつけの仕方にかかわらず見られた相関である。また、これらの喫煙シーンの半数が未成年者向け映画であった。

喫煙を開始した理由（アメリカ）



3. 結果・考察



- ・2000年代になるにつれて煙草のシーンは減っている。
- ・たばこ規制について動きがあるたび、たばこシーンは減っている
- ・アニメ内でキャラクターが禁煙をしていた（1993）り、飛行機のシーンで禁煙を促す広告（2003）が見られた。
- ・葉巻による喫煙は減った
- ・主要キャラクター以外の喫煙が見られなくなった

※1 厚生白書に初めてたばこの有害性を記載

参考文献

内山三郎 平成27年 テレビの喫煙シーン出現率に対する健康増進法の影響
 松崎道幸 平成25年 <総説>映画の喫煙シーンはタバコを吸う子供を増やす
 文部科学省 中学生喫煙防止教育用パンフレット「煙草に負けない」

岩手大学教育学部研究年報 第74巻 別刷
 日本喫煙学会雑誌 第8巻第4号